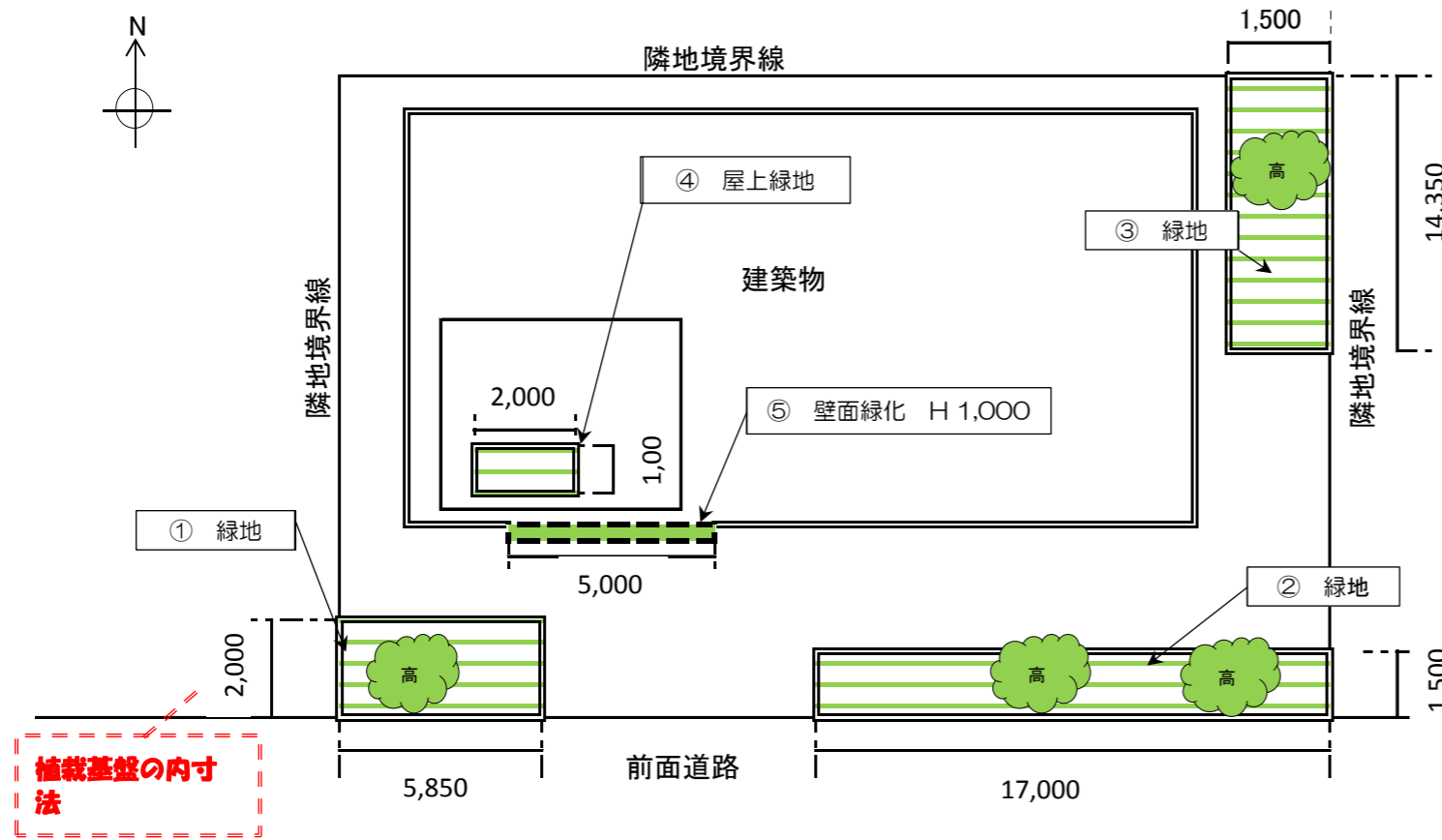


準大規模建築物の緑地計画（例）



植栽基盤の内寸法

この他
 ○緑地ごとの求積図・計算表
 ○植栽の凡例
 (樹種ごとの形状・寸法、支柱の形状、
 低木・地被類等の植栽密度等を明記)
 ○壁面緑化を施工する場合は、詳細図・カタログ等
 などを作成する

【緑地面積】
 有効面積÷敷地面積
 =51.46÷1500.65= 3.42% > 3.00%

【樹木本数】
 地上部 (①+②+③)
 ・高木 水平面積(実面積)58.72㎡×0.05 = 2.94 ≒3本 < 計4本
 ・低木 水平面積(実面積)58.72㎡×4 =234.88 ≒235株 <計247株
 屋上 (④)
 ・低木 水平面積(実面積)2.00㎡×4 =8.00 ≒8株 <計12株

緑地①：高木1本、低木 50株
 緑地②：高木2本、低木110株
 緑地③：高木1本、低木 87株
 緑地④（屋上）：低木 12株

敷地面積 1,500.65 ㎡

計算式に代入する値は
 少数第3位まで(4位切捨)

計算結果の値は
 少数第4位まで(5位切捨)

小計の値は
 少数第2位止め(3位切捨)

高木：0.05本/㎡
 低木：4株/㎡

【義務緑地】

		記号	(計算式)	実面積	(係数)	有効面積	(確認)	
緑地面積	接道部	①	2.00 × 5.85	11.70				
		②	1.50 × 17.00	25.50				
	(小計)			37.20 ㎡	1.0	37.20 ㎡		
	接道部以外	地上部	③	1.50 × 14.35	21.52			
		屋上	④	1.00 × 2.00	2.00			
壁面		⑤	1.00 × 5.00	5.00				
(小計)			28.52 ㎡	0.5	14.26 ㎡			
合計				65.72 ㎡		51.46 ㎡		
				4.37 %		3.42 %		

有効面積の値は
 少数第2位止め(3位切捨)

必要な樹木本数は実面積（水平面積）から、
 地上部(接道部+接道部以外)・屋上別に計算する

有効面積（水平面積）で
 3%以上（少数第2位止め(3位切捨)）を確保する